

### デジタル弱者への支援は

**問**

①デジタル格差の改善に向けた取り組みは。  
②ICTを活用した高齢者への支援は。

**答**

①スマートフォンの基本操作からカメラや地図などのアプリの使い方までを学ぶデジタルサー

### 子ども医療費助成制度の拡充は

**問**

①本市が乳幼児医療費公費負担制度を中学校3年生までに拡充し、さらに所得制限を撤廃することは、安心して子育てができる環境づくりとして評価するものであるが、所得制限の見直しによる影響額および実施時期は。

②4月にこども家庭庁が設置され、子どもの幸せを最優先する社会をめざしている。自治体

が実施する子ども医療費助成制度について、国も地域間格差に留意して検討しているようであり本市において高校3年生までの無償化を実現すべきと考えるが。

**答**

①今年度は子育て家庭の経

ビス講習会を開催している。

また、高齢者などが日常的にスマートフォンを活用していただけるよう、アプリを使いながら地域内で交流を深める地域交流セミナーも開催する予定である。

②センサーが自動で通報し、離れて暮らす家族にも情報が伝わる緊急通報体制を整備した。今後も支援策の検討を進める。

経済的な負担をさらに軽減するため10月から子どもの医療費助成に係る所得制限を撤廃する。影響額は今年度4400万円、通年では約1億円と見込んでいる。今年度よりシステム改修を実施し、夏ごろには新たに助成の対象となる家庭に申請書を送る予定である。

②これまでに相談窓口「あのね」や子ども家庭総合支援拠点の設置に加え、多様な保育サービスや医療提供体制の充実など、子育て環境の基盤整備に努めてきた。

今年度からは、若者や子育て世代のニーズに対応した施策を幅広く展開し、福山ネウボラをさらに強化する。このため、子どもの医療費助成の高校生までの拡充は考えていない。

### 誠友会



おかざき 正淳

まさずみ



### スポーツの振興への取り組みは

**問**

①昨年末に逝去された天野肇さんからの寄付によるスポーツ基金を活用し、ジュニアアスリートの発掘や育成などに着手することのだが、その具体は。  
②(仮称)福山市スポーツ施設

### 南部地域のまちづくりは

**問**

①南部地域振興課のこれまでの取り組みの評価は。  
②学校跡地の活用を進めるための取り組みは。  
③今年度、まちづくり推進部に南部地域担当部長を配置するが。

**答**

①管内17地域が安心・快適に暮らせるまちとなるよう所管する公民館と交流館17館、コミュニティセンター3館と連携して、まちづくり活動を支援している。  
②学校再編地域のまちづくりが地

再整備計画が策定される予定だが現時点での基本的な方向性は。

**答**

①優れた素質を有する子どもたちを発掘し、育成プログラムを通し本人に最も適した競技の選択につなげる。オリンピック等に出場する可能性を持つ選手と指導者の活動に必要な経費を助成する。  
②再整備の方向性を取りまとめ、個別施設の整備計画を定める。施設の健全度や管理コスト等を総合的に勘案する中で、市民が安全にそして身近にスポーツに親しむことのできる環境の整備に取り組む。

域住民の意思に基づいたものとなるよう、協議会や推進委員会で地域防災などの協議を重ねている。

③小中学校の再編をはじめ、高齢化に伴う地域活動の担い手不足、空き家や耕作放棄地の増加など地域課題がまだ多く残っている。一方、来年3月に予定されている新車未来トンネルの開通により、新たな可能性が広がり生活の利便性向上も期待される。南部地域が大きく変貌しようとしているこのタイミングに、一層のスピード感を持ってまちづくりに注力していきたいと考え、担当部長を配置した。